

帰り道

①

① 最初の場面をとらえましょう。

(18~19ページ)

① いつ?

② どこ?

③ だれ?

④ 何してる?

月の

と

⑤ どんな様子?

周也：
律：
⋮

②

律と周也はどんな関係ですか。文章中の言葉を使って書き

(19ページ)

なさい。



③

律が引きずつているのはどんなことですか。「」にあてはまる言葉を書きなさい。

(19~20ページ)

今日の昼休み、友達と「」いう話になり、みんなの

と

「どっちもかな。」とか言っていたら、周也に「どっちも好きつ

てのは、どっちも

」のといつしょ

④ みぞおちの辺りが重い、ぼくの気持ちとしてあってはまるものに○をつけなさい。

(20~21ページ)

ア 周也はどんなこともテンポよくてきてねたましい。

イ 周也とはテンポが合わないので仲良くしたくない。

ウ 周也のテンポについていけない自分がもどかしい。

⑤ 二人のどんよりした空気が一変したきっかけは、何でしたか。

(22ページ)

⑥ (1) 腹をかかえて笑った後、ぼくは勇気をふりしぶって何と言いましたか。

(24ページ)

(2) ぼくの言葉に、周也はどのように反応しましたか。

」まばたきを止めて、

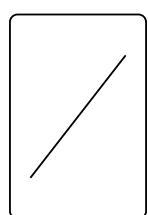
と僕の顔を見つめ、「」うなずいた。

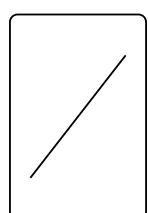
(3) 「軽快な足音」(24ページ12行目)は、どんな気持ちの変化があらわれていますか。律の気持ちを考えて書きなさい。

6年
P.17~P.24

名前

年組番





① 後半の「2」は、だれの視点で書かれていますか。

② 周也が野球の練習を休んでまで律を待ちぶせしたのはなぜですか。

(25ページ)

⑤ (1) 周也がいつもペラペラよけいなことばかりしゃべるのは、なぜですか。

(27ページ)

⑥ (1) とつぜん、律の両目が大きく見開かれたのはなぜでしたか。

(28ページ)

③ (1) 並んで歩きだした後、周也は、どんなつもりでどうしましたか。

(25ページ)

⑦ (1) 律の「ぼく、……ほんとに両方、好きなんだ」の言葉に、周也はどのようにこたえましたか。

(28~29ページ)

④ (2) 一方、律はどんな様子でしたか。

(25ページ)

④ (1) 周也のおしゃべりについて、周也の母親はどのように非難していましたか。

(26ページ)

・相手の【】を受け止めて、それをきちんと投げ

返す、会話の【】ができない。

(29ページ)

・一人で球を放っているだけの、【】と同じ。

の壁打ち

帰り道 ①

● 等松町立松枝小学校

① 最初の場面をどうえましょう。

(18~19ページ)

① いつ?

五 月の 放課後

② どこ?

学校の玄関口

③ だれ?

律 と 周也

④ 何してる?

「学校から家にいっしょに帰ろうとしている。」

⑤ どんな様子?

周也 :

「なんにもなかつたみたいにふだんと変わらない。」

② 律と周也はどんな関係ですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

「昼休みのことを引きずつていて気まずい。」

律 :

「小四から同じクラスで、家も近く、よくいっしょに登下校をしていた関係。」

③ 律が引きずつてているのはどんなことですか。「」にあてはまる言葉を書きなさい。

(19~20ページ) ④ みぞおちの辺りが重い、ぼくの気持ちとしてはまるものに○をつけなさい。

ア 周也は、どんなこともテンポよくできてねたましい。
イ 周也とはテンポが合わないので仲良くしたくない。
ウ 周也のテンポについていけない自分がもどかしい。

(20~21ページ)

⑤ 二人のどんよりした空気が一変したきっかけは、何でしたか。

(22ページ)

〔例〕 天気雨

⑥ (1) 腹をかかえて笑った後、ぼくは勇気をふりしぶって何と言いましたか。

(24ページ)

「ぼく、晴れが好きだけど、たまには、雨も好きだ。」

(2) ぼくの言葉に、周也はどのように反応しましたか。
〔例〕 「しばし」 まばたきを止めて、「まじまじ」と僕の顔を見つめ、「こつくり」うなずいた。

(3) 「軽快な足音」(24ページ12行目)は、どんな気持ちの変化があらわれていますか。律の気持ちを考えて書きなさい。

〔例〕 うまく言葉にできなくても、勇気を出して思つたことを言葉にしたら周也はわかつてくれた。
このからも友達でいられる。よかつた。
「どつちもかな。」とか言つていたら、周也に「どつちも好きつてのは、どつちも」「好きじゃない」のいっしょ

じゃないの。」と言われたこと。

6年 P.17~P.24

名前 _____ 年組番 _____

① 後半の「2」は、だれの視点で書かれていますか。

周也

② 周也が野球の練習を休んでまで律を待ちぶせしたのはなぜですか。

(25ページ)

(例) 昼休みに言わなくてもいいことを言つてしまつてから、周也の顔を見ない律のことが気になつてしかたがなかつたから。

③ 並んで歩きだした後、周也は、どんなつもりでどうしましたか。

(25ページ)

(例) 何もなかつたようにふるまえれば、何もなかつたことになると思って、ペラペラしゃべつた。

(25ページ)

(2) 一方、律はどんな様子だと周也は思つていましたか。

④ 周也のおしゃべりについて、周也の母親はどのように非難していましたか。

(26ページ)

・相手の「言葉」を受け止めて、それをきちんと投げ返す、会話の「キャッチボール」ができない。

・一人で球を放っているだけの、「ピンポン」の壁打ちと同じ。

⑤ (1) 周也がいつもペラペラよけいなことばかりしゃべるのは、なぜですか。

(例) だれかといふときのちんもくが苦手でたえられないから。

(27ページ)

⑥ (1) とつぜん、律の両目が大きく見開かれたのはなぜでしたか。

(28ページ)

(例) ちんもくなんて気にせず、マイペース。

(2) 一方、律はどんな様子だと周也は思つていましたか。

(28ページ)

(例) 晴れているのに、雨がじやんじやん降つてきたから。

(2) 雨が通りすぎるとすぐ、周也はどんな気持ちでどうしましたか。

(28~29ページ)

(例) ただただおかしくて、笑いがあふれだし、律もいつしょに笑つてくれたのがうれしくて、わざと大声をはり上げた。

⑦ (1) 律の「ぼく、……ほんとに両方、好きなんだ」の言葉に、周也はどのようにこたえましたか。

(29ページ)

(例) 心で賛成しながらも言葉にできず、だまつてうなづいた。

(2) (1)の周也に対して、律はどうしましたか。

(29ページ)

(例) 雨上がりみたいなえがおにもどつて、ぼくにうなづき返した。